

2011 年 協働と 環境保全



ラダック・アルチの村落

土木建設系専門技術 NPO 法人の連携

シビル NPO 連絡会議 メンバー紹介冊子

◇ 人と地球を技術でつなぐ、「シビル NPO 連絡会議」

- ◇ NPO 法人シビルまちづくりステーション
- ◇ NPO 法人温故創新の会
- ◇ NPO 法人国境なき技師団
- ◇ NPO 法人国際建設機械専門家協議会 (略称:国際協力フォーラム)
- ◇ NPO 法人シビルサポートネットワーク
- ◇ NPO 法人社会資本アセットマネジメントコンソーシアム
- ◇ NPO 法人橋守支援センター
- ◇ NPO 法人人と道研究会
- ◇ NPO 法人風土工学デザイン研究所
- ◇ NPO 法人横浜にLRTを走らせる会
- ◇ NPO 法人リサイクル技術振興会

写真: 大ヒマラヤ山脈の西端の裏側に位置する、インドと中国国境地域のカシミールに、チベット仏教圏のラダック・アルチがある。アルチの谷間に流れるインダス川源流の狭隘部には、「言葉と文化をつなぐ」橋が架かっている。

NPO 法人 シビルまちづくりステーション

(元 NPO 法人 IT ステーション「市民と建設」)

シビルまちづくりステーションは
市民参加・市民協働による国土づくり・まち
づくりを推進・支援します

市民参加・市民協働の推進・支援活動

市民参加による国土づくり・まちづくりを進め、市民と行政の橋渡しをします。市民と行政の協働も推進します



横浜環状北西線の
オープンハウス見学会

船橋市における
市民協働推進活動

まちづくりのための資源提供

市民団体、地方自治体などへまちづくりのための専門知識・機材道具などの資源提供をフォーラム・セミナー・出前講座・講師派遣などの形で行っています



第2回フォーラム
市民、行政、専門家の
パートナーシップ

第4回フォーラム
市民協働による
新しいまちづくり

環境・緑化、校庭・園庭の芝生化活動

児童の健全な心と体を育む環境を作るために、校庭・園庭の芝生化を進めています。これは、学校・地域住民とのコミュニティの場にもなっています。中国では砂漠の緑化・植樹活動も行っています。



奈良県生駒小学校
芝生の植付け

奈良県奈良学園
芝生開き

公共事業・サービスに関する情報提供、公共施設の有効活用の促進、関連 NPO の連携促進

情報提供や有効活用の促進は、市民目線や専門家の目で見えた評価・提言を行います。「シビル NPO 連絡会議」では、事務局を務めています。



シビル NPO 連絡会議
フォーラム



市民が選ぶ橋百選

NPO法人温故創新の会

手作りの知恵と技術を今につなぐ、ノウハウの継承

NPO法人 温故創新の会

本会は、主に社会基盤（インフラ）整備分野を中心に、団塊世代以前の技術者（旧世代）の手作りの知識・知恵、技術・ノウハウをソフトウェアとコンピュータ技術に優れた現代技術者（新世代）に伝承し、両者の融合効果により時代に適合した成果を創造すること（温故創新）を理念としています。この技術、ノウハウの継承を通じて、人づくり、まちづくり、環境保全、国際協力、科学技術の振興等に寄与することを常に目指しています。

技術継承事業

技術に関する相談、助言および指導、技術講師の出張講話、技術の継承に関わる教材の作成などを行います



某大学での地下空間活用の出前講座

指導育成事業

能力開発に関わる個別指導、人間力、技術力等の向上に資する講話などを行います

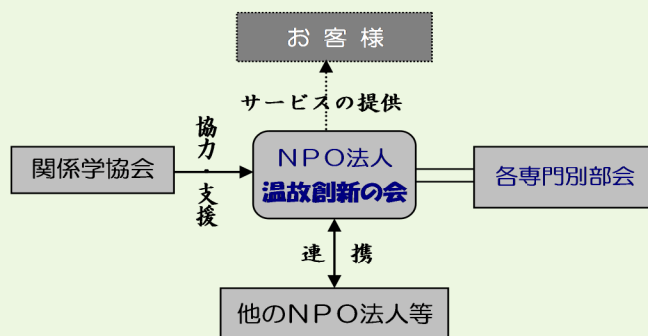


某建設計画コンサルタントでの若手技術者指導懇談会

提供技術

- 国土・環境系：都市・地域、宅地造成、環境保全など
- 河川・砂防系：治水、利水、親水、砂防、堰、護岸、その他
- 道路・鉄道・港湾系：交通・運輸計画、本体工、付帯工、舗装、軌道、特殊施設など
- 土質・基礎系：土質・地質等調査解析、地層判定、構造物基礎など
- 構造物系：橋梁、建造物、上下水道施設、廃棄物処理施設など
- マネジメント系：維持管理、アセットマネジメント、経営など
- 高度・特殊技術：数値解析、特許技術など
- 設計論等：計画論、設計論、管理論など
- プロフェッション系：技術者倫理、コンサルタント論など
- 各種支援サービス：「回顧録」の作成、ビジョン策定の支援など

本会は、各種学協会の支援を受け、また他 NPO 組織と連携を図って活動を展開しています



技術普及事業

産学官による技術の研究開発、技術セミナーの開催、一般市民との技術コミュニケーションを行います



リニアメトロの技術研究発表会

技術協力事業

各種類似団体と技術交流、技術協力を図ります



シビル連絡会議主催フォーラムの一員

NPO 法人国際建設機械専門家協議会

地球から文字の読めない人と、手に技術のない人を無くそう

■申し込み: 工学院大学・朝日カレッジ 03-3340-1457、月～土 9:00-19:00(祝祭日除く)

工学院大学エクステンションセンター

日本の技術屋が、
ブータンで、「道づくり」を教えながら
「本当の幸福」を考えた。

「変わるブータン、 変わらぬブータン」 ～アジアの桃源郷で考える～

第1回講義: 平成22年7月17日(土) 13:00-14:30(終了)

第2回講義: 平成22年8月21日(土) 13:00-14:30(終了)

第3回講義: 平成22年9月18日(土) 13:00-14:30

日本政府が支援
して建設した下の
写真の鉄橋は、こ
こに架かっている。



日本政府支援の鉄骨橋梁

講義では「ブータンでの舗装道路整備」技術を
教えながら身近に見え、GNH(国民総幸福)の文
字を「ワーポイント」写真で紹介しました。



講師: 白井 一 (NPO法人国際建設機械専門家協議会)

講師: 白井 一 (特級技術士・国際開発教育ファシリテーター)
所属: NPO 法人国際建設機械専門家協議会(通称: 国際協力フォーラム)

「お金より幸福の方が大切」というブータンでも、命綱の道路網整備は当
国の最も重要なプロジェクトです。弊会は道路舗装機械を使った道路整備
技術を5年にわたり技術指導して、成果を上げてきました。



品川区立中学校での社会人教育「東京寺子屋」



ジグメ・Y・ティンレイブータン首相の語る
「ブータンの国是GNHとは」の課題ビデオ鑑賞



工学院大学エクステンションセンター
ブータン紹介講座講義後のグループ討議
グループ討議(第2班)

海外技術調査活動



フィンランド安全化学庁(Tukes)現地調査

「ムーミン谷」で知られ、最も進んだ教育が行われているフィンランドでは、製品の
安全技術を監視しているフィンランド安全化学庁を訪見し、情報交換をしてきま
した。技術屋集団の、PL 訴訟に関わる技術支援業務の一端です。



協働事業調査活動

豪雪地帯であり、道路整備財源確保の厳しい長野県栄村は、住民との
協働で道普請を進めています。本写真の工事(平成19年10月)は、降雪
時に除雪車が入れない道幅の狭い「極野」地域の道路を、栄村と地域の
自治組織と協働で経費負担を按分し、生活の改善を図りました。何百年
の間、雪に悩まされたこの地区の住民は、この冬から自宅前まで車で入
れるようになりました。僅か3名の栄村臨時職員と1名の補助員が、2年
かけて本工事を行った現場の全過程を調査しました。建設機械を有効に
活用した素晴らしい仕事でした。これらの作業工程を教材に纏め、弊
NPO 法人は、ブータン道路公社の山岳道路整備技術支援事業で活用を
図り、日本の「地域の協働作業」の好例を紹介しました。

NPO 法人国際建設機械専門家協議会 <http://seconeq.web.fc2.com/>
SECONEQ(Society of Expert for the Construction Equipment)

〒140-0013 東京都品川区南大井 5-13-19-708 (株)テラグリーン気付 電話 03-3766-3014 Fax:03-3766-8403 e-mail:terragn@aol.com

NPO法人 シビルサポートネットワーク

都市・環境分野出身のシニア技術者を中心とした専門家集団
主に環境問題、防災問題や社会資本の維持更新等について、
研究活動や技術支援事業をおこなっています。

事業継続計画(BCP)普及事業

地震等の災害時に事業の継続を円滑に行うために中小企業向けのBCPセミナーや作成指導講座を実施します



東埼玉テクノポリス協同組合
平成 20 年 6 月～22 年 3 月 延べ 10 社



協同組合熊谷流通センター
平成 22 年 1 月～9 月 4 社

事業継続計画策定支援活動

バイオマスタウン構想の推進

バイオマスタウンアドバイザー認定者 5 名



地球温暖化の防止や地域の活性化のためにバイオマス(再生可能なエネルギーや製品)利用を推進するために、自治体のバイオマスタウン構想や事業化計画をお手伝いします

太田市バイオマスタウン事業化計画策定
南房総市バイオマスタウン構想書策定
南魚沼市バイオマスタウン構想書策定
笛吹市バイオマスタウン事業化計画策定
南房総市栽培指針策定業務

バイオマスタウン事業化計画等支援活動

市町村の道路橋長寿命化促進事業

平成19年度国土交通省は、橋の耐用年数を予防的修繕で100年まで延ばす「**長寿命化修繕計画策定事業費補助制度**」を創設しました。これは橋の寿命といわれている建設から50年を経過するものが、平成30年には全体の約半数に達しその多くで架け替えが必要となる見通しとなり、その費用の縮減を図るためのものです。

制度概要と当NPOの取組み

①点検要領書の作成およびチェック

②修繕要領書の作成およびチェック

③修繕見積書の作成およびチェック

④長寿命化修繕計画の作成および学識経験者の派遣

⑤ライフサイクルコストによる検討および実施対策の選定

⑥新設(架け替え)橋梁の設計・施工計画および見積書の作成

地方自治体向けの《出前研修》

市町村が抱える技術的な課題へ、こちらから出向き、研修・支援いたします。

関東圏内で移動に 2 時間以内のところに無償で行う支援活動です。詳細は、HP を参照してください。

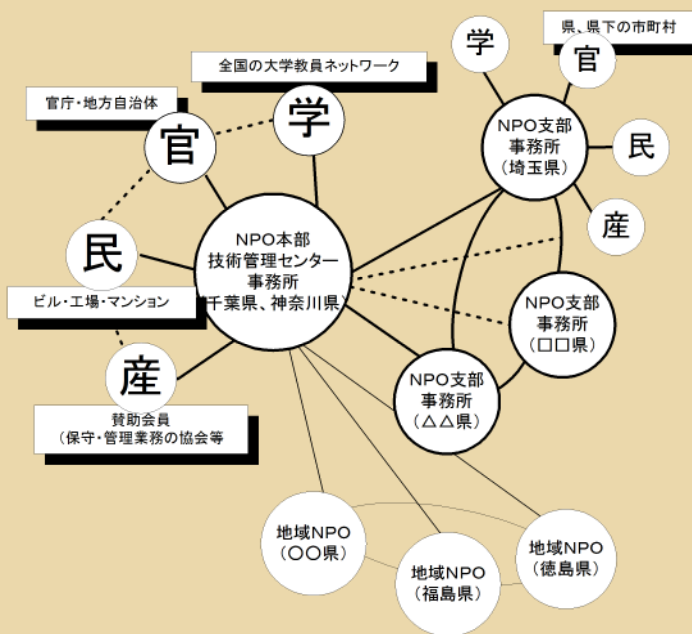


Y市職員 BCP 研修
平成 21 年 12 月

NPO法人 社会資本アセットマネジメントコンソーシアム

地方自治体を対象にした社会資本の保安全管理や投資計画に関する技術支援、技術者に対する教育支援、技術講習会の開催などの事業活動を行っています。

社会資本の整備・投資計画や適正管理に関する支援をします



- ▶▶ 社会資本という国民の資産を適切に管理する業務を支援する組織の団体連合を意味する非営利の活動法人です。
- ▶▶ アセットマネジメント、コンクリート工学および鋼構造学の各分野の有志専門家が設立し、理事会役員となっています。
- ▶▶ 第三者または市民（納税者）の立場から、社会資本の整備と投資の在り方を思考し、必要な提言を行います。

- ▶▶ 地方公共団体および地方の建設関連企業が支援の主たる対象になります。（国、大規模公営企業などが管理する構造物は、原則として対象外にしています。）
- ▶▶ コンクリート橋梁を中心とした構造物の点検、劣化診断、補修・補強、維持管理などに関する助言や技術支援を行います。
- ▶▶ 構造物の維持管理データベースの構築・管理を行います。
- ▶▶ 団体および企業の職員を対象に、教育訓練、CPD 単位取得、その他を目的とした技術者教育を行います。

専門家による丁寧に分かりやすい研修を実施します



埼玉県川越市初雁橋の点検研修
平成 22 年 1 月～2 月(埼玉県等の共同事業)



点検研修において観察された劣化

橋梁長寿命化修繕計画策定関連研修会
於:さいたま市健康県民センター

特定非営利活動法人(NPO)



リサイクル技術振興会

<http://www.rectech.or.jp/>
info@rectech.or.jp

当振興会は、資源循環型社会形成を目指し、
 現在廃棄物として処理されているものを資源
 として有効利用するための技術開発、及び、
 用途開発の研究・実用化を目的としております。



事業内容

- ・ リサイクル材料を利用する用途技術と市場の開発事業
- ・ リサイクル材料利用による舗装技術と施工法の実用化事業
- ・ リサイクル材料の発生から利用までを統合管理する全国ITネットワークの開発事業
- ・ 環境とリサイクルに関する研究会、共同研究、プロジェクトの構成及び実施事業
- ・ 研究開発によって得られる成果の地域展開や事業化の支援事業
- ・ 環境及びリサイクルに関する各種情報の収集と発信事業
- ・ 地球環境負荷を軽減する技術、産業振興とその国際的啓蒙事業

事業実績

- H12 「ごみ焼却灰焼成造粒物の力学特性とリサイクル利用技術に関する基礎実験」
法政大学工学部と共同研究発表
- H13 「一般ゴミ焼却灰を焼成安定化处理したリサイクル材の力学特性について」
土木学会 平成13年度全国大会 研究発表
- H14 「一般焼却灰の焼成炉によるリサイクルへの道」
土木学会 平成14年度全国大会 研究発表
- H14 「一般廃棄物焼却灰を焼成リサイクルした人工砂（アークサンド）の特徴」
地盤工学会 第47回 地盤工学シンポジウム 研究発表
- H15 「Distinctive features of Artificial Sand (ARC sand), recycled from
incinerated Municipal Solid Waste Ash」
サルジニア2003 第9回廃棄物管理と埋立てシンポジウム ポスター発表
- H16 “ごみ焼却施設解体シンポジウム” 開催
- H16 環境省「平成15年度次世代廃棄物処理技術基盤整備事業」補助対象事業 実施
- H16 「焼却灰を原料とした人工砂（アークサンド）の実用化試験舗装の評価」
地盤工学会 第49回 地盤工学シンポジウム 研究発表
- H16 国土交通省「底質ダイオキシン類無害化处理」対象技術となる
- H17 焼却灰リサイクルについて「京都議定書に挑む企業100選」に広告記事を掲載
- H18 焼却灰リサイクル材（アークサンドM） 国土交通省NETISへの登録完了
- H18 ロシア連邦カムチャッカ州 “環境セミナー” 参加発表
- H19 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル部長 由田秀人氏、東京電力株式会社 環境部長
影山嘉宏氏を招き、“環境フォーラム”を開催
- H19 “アークサンドM” が、NETIS
評価情報に掲載

※詳細につきましては、上記ホームページをご参照下さい。

特定非営利活動法人 リサイクル技術振興会
 東京都中央区八丁堀4-11-7 神谷ビル4階
 Tel:03-3553-8233 Fax:03-6222-3356

No.	団体名	住所・代表者名・電話・e-mail/URL
1	NPO法人 シビルまちづくりステーション (旧:NPO法人ITステーション「市民と建設」)	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-8 第3中野ビル4F 花村 義久 03-3987-6646 e-mail:info@itstation.jp URL:http://www.itstation.jp/
2	NPO法人 温故創新の会	〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3 建設コンサルタンツ厚生年金基金内 清野茂次 03-3263-3108 e-mail:onkososin@kenkon-kikin.or.jp URL:http://www.onkososin.com/
3	NPO法人 国境なき技師団	〒169-0072 新宿区大久保2-3-16-202 濱田 政則 03-3209-5124 e-mail:info@ewb-japan.org URL:http://ewb-japan.org/
4	NPO法人 国際建設機械専門家協議会 (略称:国際協力フォーラム)	〒140-0013 東京都品川区南大井5-13-19-T08 (株)テラグリーン気付 白井 一 03-3766-3014 e-mail:seconeq@gmail.com URL:http://seconeq.web.fc2.com/
5	NPO法人 シビルサポートネットワーク	〒342-0058 埼玉県吉川市きよみ野2-13-2 辻田 満 048-983-2833 e-mail:npo.csn@bridge.ocn.ne.jp http://www.npocsn.org/
6	NPO法人 社会資本アセット マネジメントコンソーシアム	〒270-1178 千葉県我孫子市南青山6-10牛島栄方 山本泰彦 e-mail:npo_amci_info@googlegroups.com URL:http://www.amci-npo.jp/
7	NPO法人 橋支支援センター	〒261-7125 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 WBGMリアウエスト25F(BMC内) 阿部 允 043-297-0207 e-mail:abem@hashimori.jp URL:http://hashimori.jp/npo/index.html
8	NPO法人 人と道研究会	〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ 霊山 智彦 03-5577-6412 e-mail:yoshiyama@route-press21st.jp URL: http://www.route-press21st.jp/
9	NPO法人 風土工学デザイン研究所	東京都千代田区神田錦町1-23 田村喜子 03-5283-5711 e-mail:design@npo-fuudo.or.jp URL:http://www.npo-fuudo.or.jp/
10	NPO法人 横浜にLRTを走らせる会	〒158-0083 東京都世田谷区奥沢4-35-10 古川 洋 03-3728-2891 e-mail:hiroshi@u03.itscom.net URL:http://lrtcocolog-nifty.com/
11	NPO法人 リサイクル技術振興会	〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-7 神谷ビル4F 下村嘉平衛 03-3553-8233 e-mail:info@rectech.or.jp URL:http://rectech.or.jp/annai.html

シビルNPO連絡会議会則

(名称)

第1条 この会は、シビルNPO連絡会議と称す。

(目的)

第2条 この会は、社会基盤整備・保全や環境等づくり・まちづくりに関するNOP法人が、互いに連携して情報を交換し、また社会および行政に働きかけることによって、社会貢献を行うとともにNPO活動の活性化と発展を図ることを目的とする。

(活動)

第3条 この会の活動は、下記のとおりとする。

1. 会員相互の情報交換、支援
2. 活動環境の改善、社会・行政に対する提言、情報発信
3. 社会貢献活動の推進、支援
4. その他、目的達成のための諸活動

(会員)

第4条 この会は、その目的と活動に賛同するNPO法人をもって組織する。ただし、会員の承諾を持って学識経験者を準会員(オブザーバー)とすることが出来る。なお、入退会は下記による。

1. 入会: 特別な理由がない限り認める。
2. 退会: 退会届を以て退会とする。
3. 除名: NPO立法の精神に反し、会員が会の名譽を傷つけたり、反社会的行為があった場合は除名することが出来る。

(世話人、担当世話人)

第5条 この会の運営のために、世話人、下記の担当世話人を置く。担当世話人の任期は1年とし、再任は妨げない。担当世話人は世話人の互選による。

担当世話人

- | | |
|-----------|--------|
| 1. 代表世話人 | : 1名 |
| 2. 副代表世話人 | : 2名以内 |
| 2. 事務局長 | : 1名 |
| 3. 会計 | : 1~2名 |
| 4. 監査 | : 2名 |
- なお、世話人会のメンバーを世話人とする。

(世話人会)

第6条 この会は世話人会で運営する。

1. 世話人会は会の活動方針・予算の決定を行うとともに、会の日常的な運営を行う。
2. 会員は、世話人になることが出来る。
3. 準会員は傍聴し意見を述べることが出来る。

(事務局)

第7条 この会の事務局を置く。事務局所在地及び事務局は、世話人会によって定める。

(会費)

第8条 この会の運営のため、次の会費を徴収する。

1. 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
2. 会費は、会員は年額3,000円、準会員は年額2,000円とする。
3. 個別事業に対して、臨時会費を徴収することが出来る。
4. 監査世話人は、会計の状況を監査し、世話人に報告する。

(規約の改定)

第9条 会則の改定は、世話人会の決議による。

(付則)

この会則は、平成22年10月1日より適用する。

役員

- | | |
|------|--------------------|
| 代表 | : 花村義久 |
| 副代表 | : 大野博久 |
| // | : 松尾全史 |
| 事務局長 | : 比奈地信雄(事務局: 池畑輝男) |
| 会計 | : 高橋 肇 |
| // | : 三輪信雄 |
| 会計監査 | : 白井 一 |
| // | : 皆川 勝 |
| 広報 | : 霊山智彦 |



埼玉県環境整備センターゴミ埋立地



モニター池



埼玉県環境整備センター芥埋立地跡の運動場

シビル NPO 連絡会議・事務局

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-12-8 第3中野ビル4F

NPO法人シビルまちづくりステーション気付

Tel:03-3987-6646 e-mail:info@itstation.jp

URL:http://www.itstation.jp/

表紙・裏表紙写真、編集・制作：
白井 一(国際協力フォーラム)

Ver.1.0 (2011/3/14, 2,000)